

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	727,146	11.9	727,146	24.9	普通税	715,024	98.3	-
地方譲与税	91,768	1.5	91,768	3.1	法定普通税	715,024	98.3	-
利子割交付金	1,128	0.0	1,128	0.0	市町村民税	287,825	39.6	-
配当割交付金	1,377	0.0	1,377	0.0	個人均等割	10,287	1.4	-
株式等譲渡所得割交付金	1,999	0.0	1,999	0.1	所得割	223,225	30.7	-
地方消費税交付金	66,845	1.1	66,845	2.3	法人均等割	14,585	2.0	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	39,728	5.5	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	371,879	51.1	-
自動車取得税交付金	35,518	0.6	35,518	1.2	うち純固定資産税	369,523	50.8	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	22,459	3.1	-
地方特例交付金	1,955	0.0	1,955	0.1	市町村たばこ税	32,861	4.5	-
地方交付税	2,247,387	36.8	1,946,030	66.5	鉱産税	-	-	-
普通交付税	1,946,030	31.9	1,946,030	66.5	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	266,835	4.4	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	34,522	0.6	-	-	目的税	12,122	1.7	-
(一般財源計)	3,175,123	52.0	2,873,766	98.3	法定目的税	12,122	1.7	-
交通安全対策特別交付金	1,437	0.0	1,437	0.0	入湯税	12,122	1.7	-
分担金・負担金	3,758	0.1	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	77,398	1.3	4,625	0.2	都市計画税	-	-	-
手数料	4,233	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	834,309	13.7	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	42,478	0.7	42,478	1.5	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	284,316	4.7	-	-	合計	727,146	100.0	-
財産収入	31,460	0.5	-	-				
寄附金	12,075	0.2	-	-				
繰入金	246,007	4.0	-	-				
繰越金	300,806	4.9	-	-				
諸収入	177,905	2.9	1,883	0.1				
地方債	913,476	15.0	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	184,076	3.0	-	-				
歳入合計	6,104,781	100.0	2,924,189	100.0				

区分		平成25年度	平成24年度
徴収率(%)	現・計	99.3	97.4
	年	99.4	98.5
	年	99.2	96.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	514,837	実質収支	89,349
下水道	243,035	再差引収支	84,439
上水道	-	加入世帯数(世帯)	1,053
工業用水道	-	被保険者数(人)	2,089
交通	-	被保険者	124
国民健康保険	57,804	1人当り	121
その他	213,998	保険税(料)収入額	252
		国庫支出金	121
		保険給付費	252

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	95,810	1.6	-	95,810	
総務費	961,129	16.3	143,779	779,391	
民生費	783,207	13.3	574	519,549	
衛生費	666,368	11.3	2,576	652,819	
労働費	36,998	0.6	-	10	
農林水産業費	500,841	8.5	284,887	266,557	
商工費	105,308	1.8	7,408	63,511	
土木費	486,394	8.3	188,597	367,786	
消防費	132,726	2.3	2,100	118,376	
教育費	1,767,808	30.0	1,401,883	552,489	
災害復旧費	3,942	0.1	-	2	
公債費	351,543	6.0	-	337,824	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	5,892,074	100.0	2,031,804	3,754,124	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,476,169	25.1	1,221,111	1,190,371	38.3
人件費	834,612	14.2	784,991	784,991	25.3
うち職員給	490,125	8.3	444,890	-	-
扶助費	290,014	4.9	98,296	95,656	3.1
公債費	351,543	6.0	337,824	309,724	10.0
元利償還金	351,542	6.0	337,823	309,723	10.0
内 うち元金	310,232	5.3	299,253	271,153	8.7
訳 うち利子	41,310	0.7	38,570	38,570	1.2
一時借入金利子	1	0.0	1	1	0.0
その他の経費	2,380,159	40.4	2,028,950	1,374,924	44.2
物件費	627,997	10.7	461,658	366,679	11.8
維持補修費	79,008	1.3	74,237	74,237	2.4
補助費等	782,119	13.3	745,189	540,121	17.4
うち一部事務組合負担金	646,910	11.0	646,831	464,575	14.9
繰出金	514,837	8.7	482,452	393,887	12.7
積立金	325,998	5.5	265,414	-	-
投資・出資金・貸付金	50,200	0.9	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,035,746	34.6	504,063	-	-
うち人件費	11,264	0.2	11,264	-	-
普通建設事業費	2,031,804	34.5	504,061	-	-
うち補助	1,242,739	21.1	78,177	-	-
うち単独	767,612	13.0	422,940	-	-
災害復旧事業費	3,942	0.1	2	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	5,892,074	100.0	3,754,124	-	-

平成25年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	宮城県		市町村類型	II-O		指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	区分		平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)																																																																																																																				
						財政健全化等	×	歳入総額	6,104,781			5,306,479	実質収支比率			5.6	10.9																																																																																																																		
市町村名	色麻町		地方交付税種地	2-2		財源超過	×	歳入総額	5,892,074	4,755,673	経常収支比率	82.5	81.6																																																																																																																						
						首都	×	歳入歳出差引	212,707	550,806	(※1)	(87.7)	(86.9)																																																																																																																						
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	42,080	224,221	標準財政規模	3,055,525	2,994,389																																																																																																																						
						中部	×	実質収支	170,627	326,585	財政力指数	0.27	0.27																																																																																																																						
人口	22年国調(人)	7,431	産業構造(※5)		低開発	×	単年度収支	-155,958	85,767	公債費負担比率	8.5	8.2																																																																																																																							
	17年国調(人)	7,856			過疎	×	積立金	209,000	117,000	健全化判断比率	-	-																																																																																																																							
	増減率(%)	-5.4			山振	×	積立金取崩し額	200,000	140,000	実質赤字比率	-	-																																																																																																																							
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	7,367	第1次	22年国調	763	17年国調	949	指数表選定	○	積立金単年度収支	-118,858	62,767	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																				
	うち日本人(人)	7,334		20.3	23.0	標準財政収入額	730,183	672,638	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																								
	25.03.31(人)	7,398	第2次	1,258	1,422	標準財政需要額	2,676,213	2,635,267	将来負担比率	10.4	12.0																																																																																																																								
	うち日本人(人)	7,367		33.5	34.4	標準税収収入額等	925,419	841,958																																																																																																																											
	増減率(%)	-0.4	第3次	1,738	1,762	経常経費充当一般財源等	2,565,295	2,571,997		実質公債費比率	126.0	127.4																																																																																																																							
うち日本人(%)	-0.4	46.2		42.6	歳入一般財源等	3,966,831	4,010,540																																																																																																																												
面積(km ²)	109.23																																																																																																																																		
人口密度(人/km ²)	68																																																																																																																																		
世帯数(世帯)	1,923																																																																																																																																		
職員の状況																																																																																																																																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	3,914,398	3,311,154	うち公的資金	2,675,134	2,118,167																																																																																																																						
	市区町村長	1	8,700	一般職員	85	259,675	3,055	債務負担行為額(支出予定額)	803,265	1,968,548																																																																																																																									
	副市区町村長	1	6,460	うち消防職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																									
	教育長	1	5,220	うち技能労務職員	8	21,240	2,655	土地開発基金現在高	131,300	130,800																																																																																																																									
	議会議長	1	3,230	教育公務員	8	24,566	3,071	積立金現在高	1,006,000	747,000																																																																																																																									
	議会副議長	1	2,450	臨時職員	-	-	-	財政調整基金	110,000	81,700																																																																																																																									
	議会議員	14	2,290	合計	93	284,241	3,056	減債基金	167,672	120,374																																																																																																																									
					ラスパイレス指数		93.4	その他特定目的基金																																																																																																																											
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td colspan="2">(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(3)</td> <td>国民健康保険事業特別会計</td> <td>(7)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>下水道事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>色麻町外一市一ヶ村花川ダム管理組合</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>奨学資金貸付基金特別会計</td> <td>(4)</td> <td>介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>宮城県市町村職員退職手当組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>宮城県市町村非常勤消防団員補償報酬組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>介護サービス事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>大崎地域広域行政事務組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>宮城県市町村自治振興センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>加美郡保健医療福祉行政事務組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>加美郡保健医療福祉行政事務組合：病院会計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>加美郡保健医療福祉行政事務組合：介護事業会計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>宮城県後期高齢者医療広域連合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>宮城県後期高齢者医療事業会計</td> </tr> </table>																一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)		(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(8)	下水道事業特別会計	(9)	色麻町外一市一ヶ村花川ダム管理組合	(2)	奨学資金貸付基金特別会計	(4)	介護保険特別会計					(10)	宮城県市町村職員退職手当組合			(5)	後期高齢者医療特別会計					(11)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報酬組合			(6)	介護サービス事業特別会計					(12)	大崎地域広域行政事務組合									(13)	宮城県市町村自治振興センター									(14)	加美郡保健医療福祉行政事務組合									(15)	加美郡保健医療福祉行政事務組合：病院会計									(16)	加美郡保健医療福祉行政事務組合：介護事業会計									(17)	宮城県後期高齢者医療広域連合									(18)	宮城県後期高齢者医療事業会計
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																														
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)																																																																																																																											
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(8)	下水道事業特別会計	(9)	色麻町外一市一ヶ村花川ダム管理組合																																																																																																																										
(2)	奨学資金貸付基金特別会計	(4)	介護保険特別会計					(10)	宮城県市町村職員退職手当組合																																																																																																																										
		(5)	後期高齢者医療特別会計					(11)	宮城県市町村非常勤消防団員補償報酬組合																																																																																																																										
		(6)	介護サービス事業特別会計					(12)	大崎地域広域行政事務組合																																																																																																																										
								(13)	宮城県市町村自治振興センター																																																																																																																										
								(14)	加美郡保健医療福祉行政事務組合																																																																																																																										
								(15)	加美郡保健医療福祉行政事務組合：病院会計																																																																																																																										
								(16)	加美郡保健医療福祉行政事務組合：介護事業会計																																																																																																																										
								(17)	宮城県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																										
								(18)	宮城県後期高齢者医療事業会計																																																																																																																										

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	6,085	5,875	210	169	0	3,914	
2 奨学資金貸付基金特別会計	19	17	2	2	0	0	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239				</			

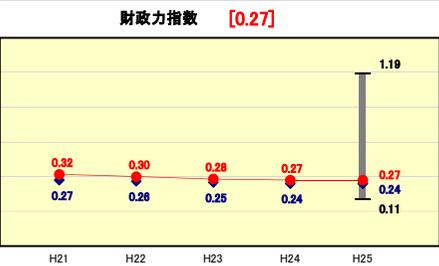
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	7,367	人(H26.1.1現在)			
うち日本人	7,334	人(H26.1.1現在)			
面積	109.23	km ²			
歳入総額	6,104,781	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	5,892,074	千円	連続実質赤字比率	-	%
実質収支	170,627	千円	実質公債費比率	10.4	%
標準財政規模	3,055,525	千円	将来負担比率	126.0	%
地方債現在高	3,914,398	千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-O	
			(年度毎)	H24 II-O H25 II-O	



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

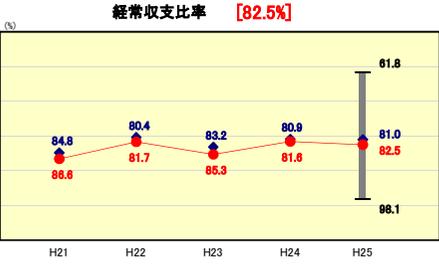
財政力



財政力指数の分析欄

漸減しており、類似団体平均(0.24)は上回っているものの、宮城県平均(0.49)全国平均(0.50)は下回っている状況にある。再任用の活用、人員の削減を中心とした人件費の削減は頭打ちの状況にあるが、投資的経費の選択と集中、集中改革プランに基づいた事務事業の見直し等による経常経費の削減、企業誘致による雇用創出や住宅整備による人口の増加など、新たな自主財源の創出や歳入の確保に努め、財政基盤の強化に取り組む。

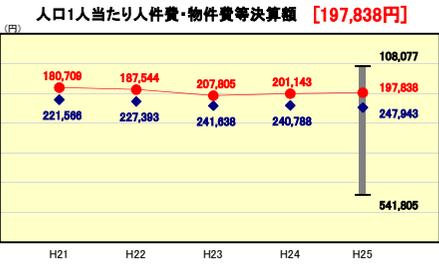
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

宮城県平均(93.2)、全国平均(90.2)は下回っているものの、類似団体平均(81.0)は上回っている状況にある。一部事務組合負担金(加美郡保健医療福祉行政事務組合)、特別会計(下水道事業等)への繰入金等が経常収支比率の大きな比率を占めている。小中一貫校教育施設整備のために平成24・25年度に大型の地方債発行を予定したが、その前の数年度で起債をある程度抑制していたことから、公債費が爆発的に増加することはない。今後とも行財政改革の推進、投資的経費の選択と集中に努め、現在の水準を維持する。

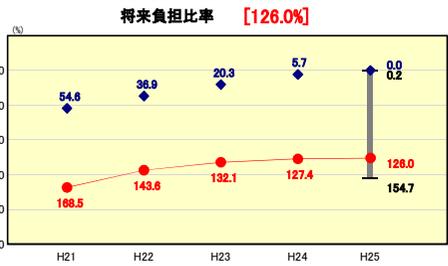
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

自治体クラウド構築委託業務の終了、企業誘致に関するアンケートや防災計画の改訂委託などの実施と、事業の入れ替わりはあるものの、平成24年度と比較して住民1人あたり3,305円減の197,838円となり、ほぼ横ばいでの推移となった。類似団体平均(247,943円)は下回っているものの、宮城県平均(175,614円)、全国平均(116,288円)は上回っている状況にある。今後とも行財政改革を進め、経常経費の削減を継続することで宮城県平均、全国平均の水準を目指す。

将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

財政調整基金等の増、標準財政規模の増により前年度と比較すると1.4%改善して126.0%となった。類似団体平均(0.2%)、宮城県平均(67.9%)、全国平均(51.0%)の全てを上回っている。分母については、平成25年度までに小中一貫校教育施設整備のための起債をしたが、その前の数年度である程度起債を抑制していた。その一方で、公営企業債等の繰入、加美郡保健医療福祉行政事務組合をはじめとした組合等への負担は依然として大きな割合を占めている。当面は現在の水準前後を推移することを見込んでいる。

公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

前年度より1.6%改善し10.4%となった。今後は小中一貫校教育施設整備のための起債の償還がはじまるが、色麻町一般会計の地方債償還のピークは超えている。その一方で、地方債償還の財源に充てたと認められる公営企業への繰入金、一部事務組合への負担金(加美郡保健医療福祉行政事務組合)の増を見込んでいる。

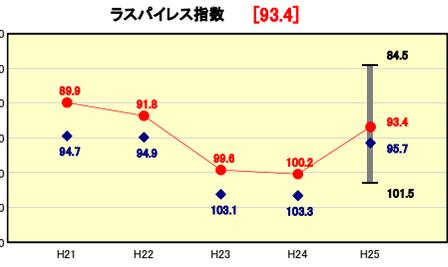
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

ほぼ横ばいでの推移となっている。類似団体平均(15.05人)よりは良好だが、宮城県平均(7.58人)、全国平均(6.96人)には及んでいない。今後とも事務の効率化を進め、職員の定員管理に努める。

給与水準(国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

類似団体平均(95.7%)、全国町村平均(95.6%)、全国市平均(98.6%)いずれよりも良好な水準にある。今後とも人事院勧告に基づいた運用に努め、適正な給与水準を保つことを目標としている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

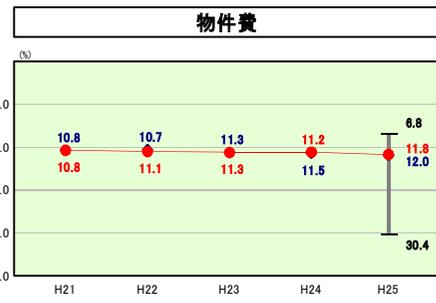
宮城県色麻町

経常収支比率の分析

人口	7,367	人(H26.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	7,334	人(H26.1.1現在)	運輸実収赤字比率	-	%
面積	109.23	km ²	実収公債費比率	10.4	%
歳入総額	6,104,781	千円	将来負担比率	126.0	%
歳出総額	5,892,074	千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-O	
実収収支	170,627	千円	(年度毎)	H24 II-O H25 II-O	
標準財政規模	3,055,525	千円			

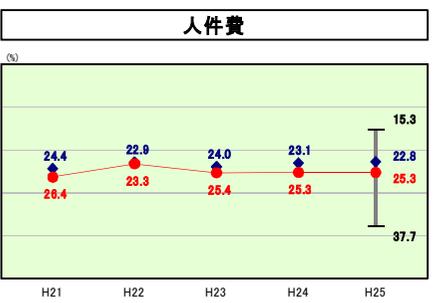


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



物件費の分析欄

類似団体平均(12.0%)、宮城県平均(14.3%)、全国平均(13.7%)いずれよりも下回っている状況にある。自治体クラウド構築委託業務の終了、企業誘致に関するアンケートや防災計画の改訂委託などの実施と、事業の入れ替わりはあるものの、ほぼ横ばいで推移している。



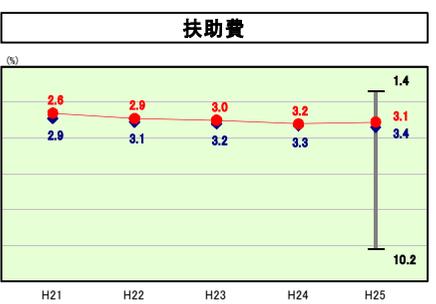
人件費の分析欄

ほぼ横ばいで推移している。類似団体の平均(22.8%)、全国平均(23.7%)、宮城県平均(24.9%)とも大きな乖離はない。事務事業の見直しによる効率化や職員の定数管理に努め、今後とも人件費の抑制に努める。



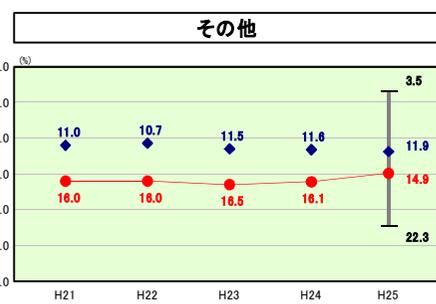
補助費等の分析欄

前年度から2.0%上昇して17.4%となった。類似団体平均(12.2%)、宮城県平均(10.5%)、全国平均(10.0%)のいずれよりも高い値となっている。一部事務組合負担金の増加、町内の自主防災組織への補助(復興基金事業)などが昨年度からの増額の主な理由となっている。



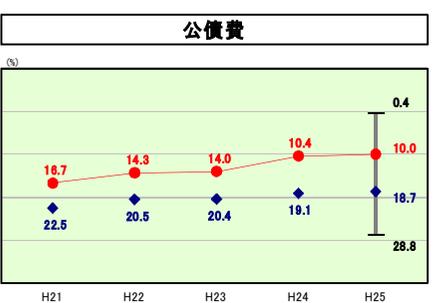
扶助費の分析欄

ほぼ横ばいで推移している。類似団体平均(3.4%)、宮城県平均(9.1%)、全国平均(11.3%)いずれよりも低い水準となっている。今後は社会情勢の変化に伴う社会保障関係経費の増加が見込まれており、特に町単独施策として実施している乳幼児・児童医療費助成(無料化)の対象を平成27年度に15歳から18歳に拡大したことなどから、増加傾向となることを見込んでいる。



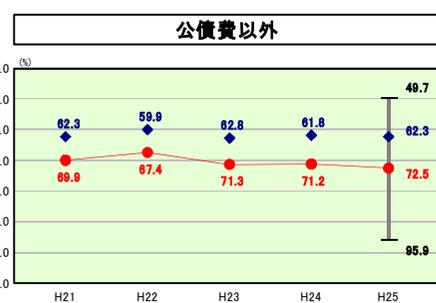
その他の分析欄

類似団体平均(11.9%)、宮城県平均(14.2%)、全国平均(12.9%)のいずれよりも高い14.9%となっている。平成20年度以降はほぼ横ばいで推移している。今後は下水道事業特別会計に対する繰出金が、設備更新などのために増大する恐れがあると見込んでいる。



公債費の分析欄

平成21年度が地方債償還のピーク(5億円程度)であり、漸減している。小中一貫校教育施設整備に伴う大型の地方債を発行したために今後は増加が見込まれているものの、現在とほぼ同程度の水準で推移するものと見込んでいる。



公債費以外の分析欄

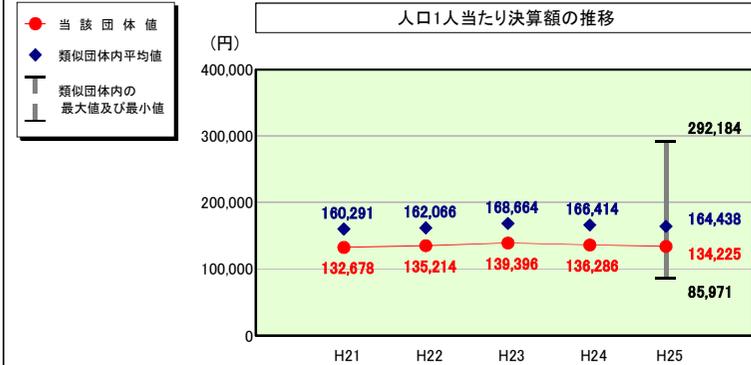
公債費償還のピークが過ぎたこともあり、相対的に公債費以外の占める割合は増えていくこととなる。小中一貫校教育施設整備事業に際して多額の起債をしたが、ここ数年は起債の抑制に努めていたこともあり、爆発的に増加することは見込んでいない。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

宮城県色麻町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

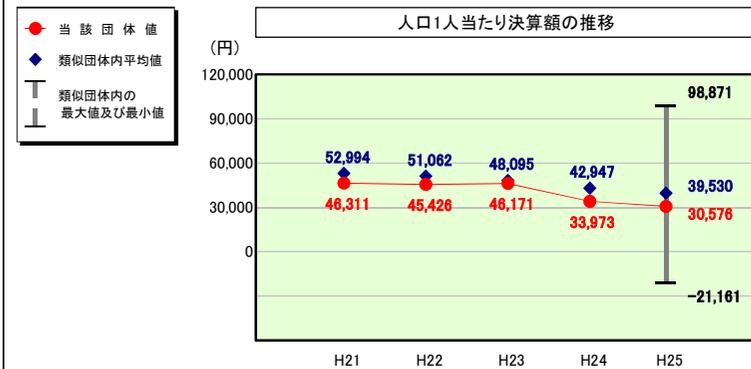
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	834,612	113,291	132,943	▲ 14.8
賃金 (物件費)	93,306	12,665	15,355	▲ 17.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	118,918	16,142	21,605	▲ 25.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	2,278	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	26,137	3,548	5,589	▲ 36.5
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	11,264	1,529	2,911	▲ 47.5
▲退職金	▲ 95,405	▲ 12,950	▲ 16,243	▲ 20.3
合計	988,832	134,225	164,438	▲ 18.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	12.62	15.05	▲ 2.43
ラスパイレズ指数	93.4	95.7	▲ 2.3

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

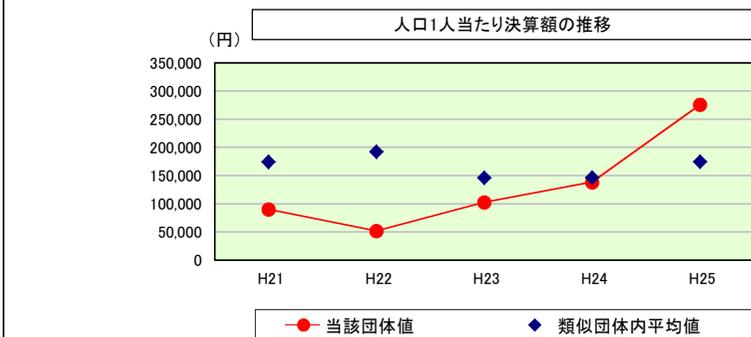


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	323,442	43,904	104,657	▲ 58.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	419	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	197,976	26,873	24,121	11.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	123,839	16,810	4,863	245.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	92	12	2,362	▲ 99.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	22	-
▲特定財源の額	▲ 13,719	▲ 1,862	▲ 5,112	▲ 63.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 406,373	▲ 55,161	▲ 91,802	▲ 39.9
合計	225,257	30,576	39,530	▲ 22.7

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

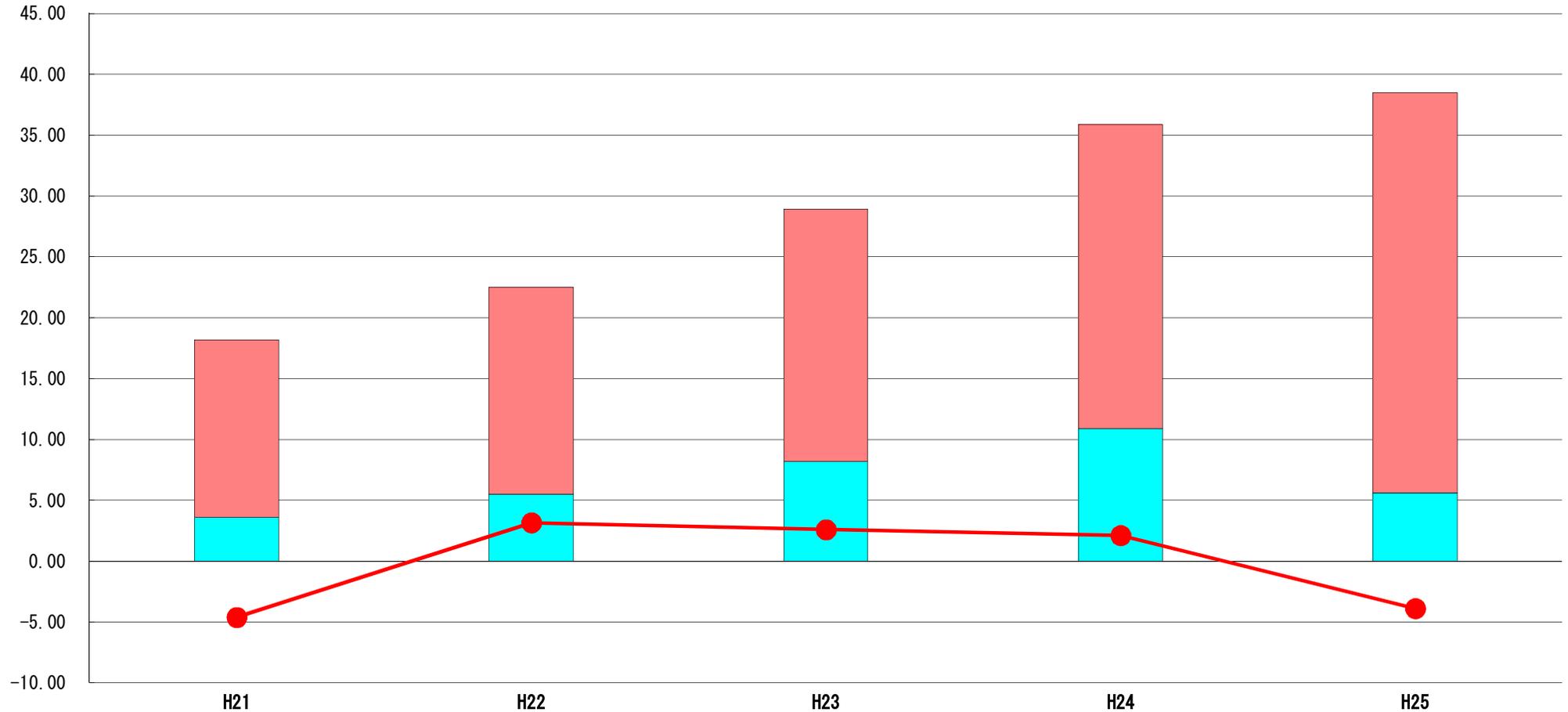
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H21	680,907	89,960	85.8	174,443	52.1	33.7
うち単独分	365,606	48,303	8.3	89,518	60.1	▲ 51.8
H22	388,514	51,823	▲ 42.4	192,544	10.4	▲ 52.8
うち単独分	364,125	48,569	0.6	82,235	▲ 8.1	8.7
H23	766,026	102,616	98.0	146,140	▲ 24.1	122.1
うち単独分	744,561	99,740	105.4	75,451	▲ 8.2	113.6
H24	1,023,151	138,301	34.8	146,641	0.3	34.5
うち単独分	532,627	71,996	▲ 27.8	68,142	▲ 9.7	▲ 18.1
H25	2,031,804	275,798	99.4	174,587	19.1	80.3
うち単独分	767,612	104,196	44.7	79,695	17.0	27.7
過去5年間平均	978,080	131,700	55.1	166,871	11.6	43.5
うち単独分	554,906	74,561	26.2	79,008	10.2	16.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成25年度

宮城県色麻町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		14.57	16.98	20.73	24.95	32.92
 実質収支額		3.60	5.52	8.18	10.91	5.58
 実質単年度収支		▲ 4.61	3.15	2.59	2.10	▲ 3.89

分析欄

【財政調整基金残高】

標準財政規模の10%程度を確保することとしている。今後も現在の水準を維持することを目標としているが、義務的経費が増加傾向にあり、取り崩し額についても漸増することが見込まれる。

【実質収支額】

地方交付税が減額となり、平成24年度より5.33%の減となっている。なお、歳計剰余金処分として財政調整基金に94百万円を積んだ。

【実質単年度収支】

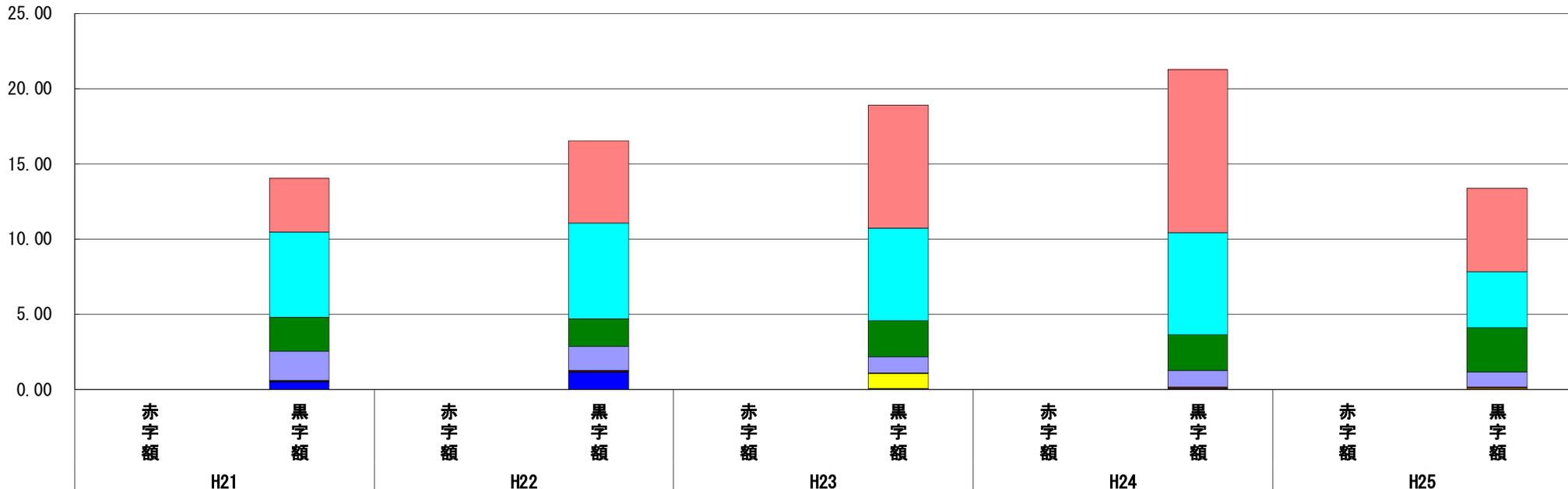
平成24年度に実質収支が多額であったことや、基金取崩しのためにマイナスとなっている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

標準財政規模比（％）

平成25年度

宮城県色麻町



標準財政規模比（％）

会計	年度	H21	H22	H23	H24	H25
一般会計		3.56	5.48	8.14	10.83	5.52
水道事業会計		5.66	6.35	6.19	6.79	3.75
国民健康保険事業特別会計		2.28	1.86	2.39	2.38	2.92
介護保険特別会計		1.94	1.58	1.08	1.11	1.02
奨学資金貸付基金特別会計		0.03	0.04	0.04	0.07	0.06
下水道事業特別会計		-	-	0.98	0.03	0.05
後期高齢者医療特別会計		0.03	0.08	0.04	0.02	0.02
介護サービス事業特別会計		0.01	0.03	0.02	0.02	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.50	1.11	-	-	-

分析欄

全会計において黒字であり赤字はない。今後も現在の水準を維持し、適正な財政経営に努める。

【一般会計】

平成24年度と比較して5.31ポイント増となっている。これは地方交付税が132百万円（前年度比5.6%）の減となっていることが主因である。

【水道事業会計】

近年はほぼ横ばいに推移している。平成24年度と比較すると3.04ポイントの増となっているが、これは平成24年度において、猛暑の影響のより7・8月の給水量が増加し、給水収益が増加（120百万円から125百万円に4.2%増）していたことによる。

【国民健康保険事業特別会計】

国民健康保険税、国民健康保険事業財政調整基金の取り崩し及び一般会計からの繰入金等により運営している。財政の適正化、社会情勢等の変化に応じた財政経営に努める。

【介護保険特別会計】

介護保険料及び一般会計からの繰入金等により運営している。特別養護老人ホーム建設等の社会情勢等の変化に応じた財政経営に努める。

【奨学資金貸付基金特別会計】

奨学資金貸付金返還金及び寄附金により運営している。今後とも事業の適正化に努め、現在の水準を維持する。

【下水道事業特別会計（農業集落排水施設事業、特定地域生活排水処理施設事業）】

下水道使用料及び一般会計からの繰入金等により運営している。下水道の普及促進を図り、経営の適正化に努める。

【後期高齢者医療特別会計】

後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金等により運営している。財政の適正化、社会情勢等の変化に応じた財政経営に努める。

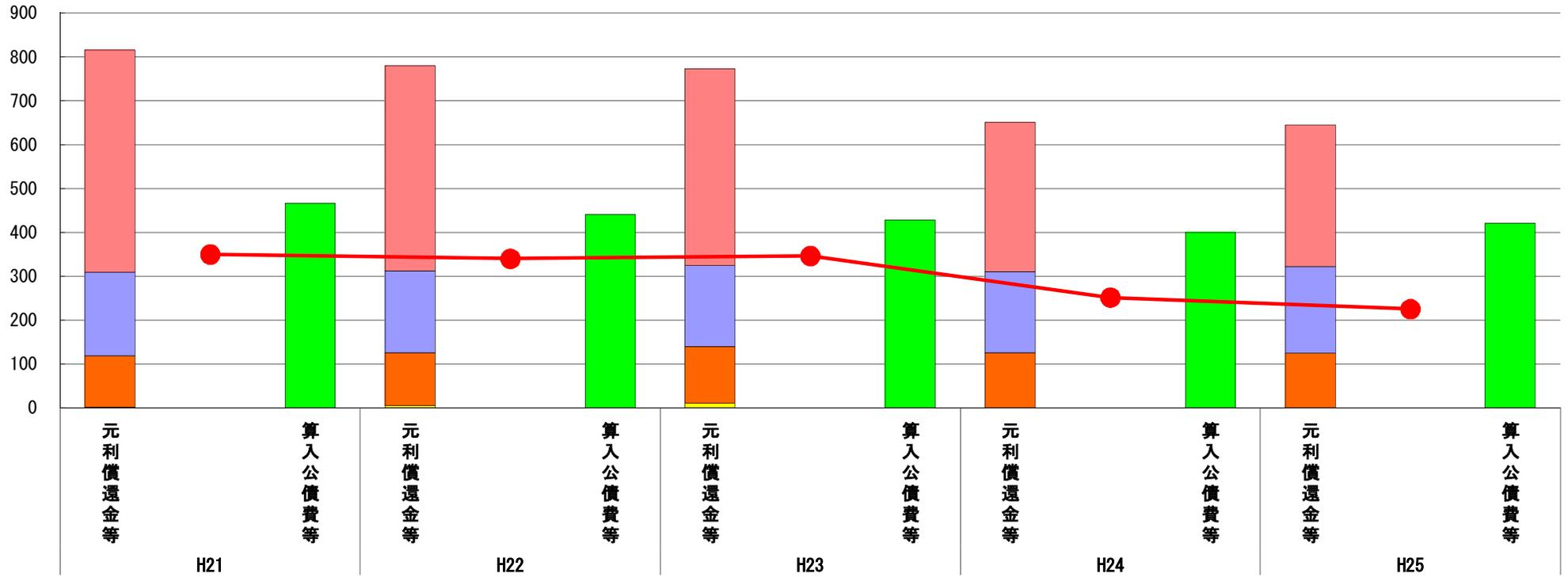
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出しにくい団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

宮城県色麻町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等(A)	元利償還金		507	469	449	341	323
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		190	186	184	184	198
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		118	120	129	126	124
	債務負担行為に基づく支出額		1	5	11	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	0	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		466	440	427	400	420
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		350	340	346	251	225

分析欄

元利償還金は、平成21年度にピークを迎え、平成22年度以降は漸減しているが、地方債償還額の財源に充てたと認められる公営企業債(下水道事業債)の元利償還金に対する繰入金、組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等(加美郡保健医療福祉行政事務組合等への負担金)の増加が見込まれている。

しかし、元利償還金の減少及び臨時財政対策債等の発行により算入公債費等についてもほぼ横ばいに推移しているため、実質公債費比率の分子となる額も減少傾向にある。

今後も投資的事業への地方債発行の厳選、公営企業の健全化を図り、現在の水準の維持・向上に努める。

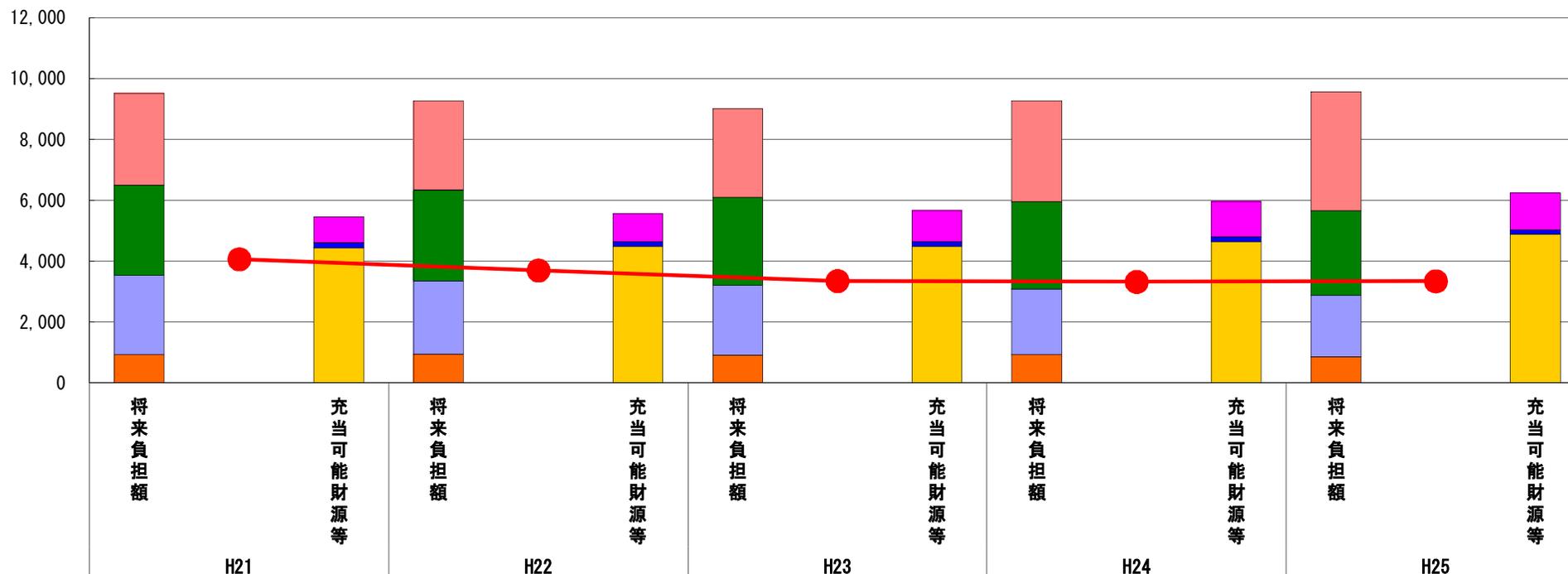
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

宮城県色麻町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,021	2,926	2,906	3,311	3,914
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	11	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,961	2,975	2,894	2,877	2,787
	組合等負担等見込額		2,615	2,412	2,299	2,163	2,009
	退職手当負担見込額		926	939	913	925	861
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		842	920	1,021	1,154	1,196
	充当可能特定歳入		176	159	155	154	146
	基準財政需要額算入見込額		4,433	4,480	4,486	4,644	4,889
(A) - (B)	将来負担比率の分子		4,072	3,703	3,349	3,324	3,340

分析欄

小中一貫教育施設建設に伴う大規模な地方債を発行したため、「一般会計等に係る地方債の現在高」が増加し、充当可能財源も増加しているものの、将来負担比率の分子は38,517千円(対前年度1.2%)の増となっている。
 その一方で、標準財政規模の増大により分母となる額が増加しており、将来負担比率は減少傾向にある。
 依然として類似団体、県内平均、全国市町村平均のいずれよりも高い水準にあり、今後も、投資的事業への地方債発行の厳選、公営企業の健全化を図り、当面は現在の水準を維持することを目標とする。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。